

※ 今週のアウトルック (2/23~2/27)

先週は、ギリシャとEUの動向に振り回される週となってしまいました。
ギリシャとユーログループとの支援に関する話し合いはなかなか決着がつかず、
最終期限となる金曜日夜までもつれこんでしまいました。

結果的にはユーログループが合意、週明け早々にEU各国が承認する運びとは
なりましたが、刻々と変わる関係筋の報道にその都度、
為替相場は大きく変動することとなってしまいました。

今週は、週明け早々からの動きが気になります。
先週金曜日のユーログループとの決着後、それほどユーロが上がらなかったことから、
EU各国の承認を待ってから、大きく動きがあるのか、それともギリシャ支援合意は、
織り込み済みだったため、ここから更なる上昇とはならないのか、
EU各国の承認後の動きがまず注目されます。

先週のドル円は、木曜日の新規失業保険申請件数の結果が良好だったことから、
一時的に上昇する場面もありましたが、全体的には狭いレンジ内でのみみ合いとなりました。

今週は、雇用状況の改善などから、再び早期利上げ観測が復活し、
ドル買いの勢いが戻りつつあります。
FRB議長証言なども気になるところですが、ドル高機運がいささか高いように思います。

ドル円の予想レンジは117円から121円です。

先週、ユーログループとギリシャはなんとか期限間際に合意にこぎつけることができました。
週明け早々のEU承認に、なにかトラブルがなければ、ある程度まで戻りが期待できるようなも
思います。

ただ、ECBの量的緩和などを背景に、ユーロを積極的に買い進む理由には乏しいため、
戻りは限られてしまうように思います。

ユーロ円の予想レンジは135円から137円です。

ポンド円は、ユーロが落ち着きを取り戻した今週、本格的な上昇トレンドに
入れるか否かがポイントとなりそうです。
週明け早々、円安の流れに乗って184円をクリアできれば、上昇トレンド入りの

可能性は高まりそうです。

ポンド円の予想レンジは180円から187円です。

今週は、各国の株価上昇、ギリシャ危機の一段落などを背景に、リスクオンが本格的となり、全般的に円安がもう一段進む可能性が、いささか高いように思います。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。